

教 科	科 目 名	単位数	学年	学科またはコース	履 修
家庭	ファッション造形基礎	2	3	全学科	選択

(1) 科目のねらい

科目のねらい	家庭総合で学習した衣生活の発展学習です。 “生活を豊かにするものを作る”ために、 ①衣生活に必要な基本的な技能を身に付けるよう、反復練習します。 ②生活文化を大切にし伝統を継承する心を身につけるような作品制作をします。 “ものづくり”から職業観を身に付けるために、被服製作では売れるような作品作りを目指します。
使用教材など	教科書 : ファッション造形基礎 (実教出版) 資 料 : 家庭科問題集基礎編 (全国高等学校家庭科教育振興会) G 科生徒

(2) 年間予定

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一学期	4	4	授業開き	・家庭科技術検定被服製作4級内容を学習し、基礎的な技術を習得する。
	5	8	基礎縫い 手縫い ミシン縫い	
	6	6	* 中間評価・・・基礎縫い実技テスト 製作1 (刺し子) 効率的な作業手順 手縫い・ミシン操作 糸の始末 正確な作業 * 期末テスト (作品提出)	・刺し子の製作 ① 職業観 (7.作業効率 1.丁寧で迅速な作業) ②製作技術 (丁寧な手縫いと糸の始末) 特に習得する。
二学期	7	6	製作2 (アウターパンツ)	・アウターパンツの製作 (1/2縮尺) ①作業手順の確認 ②製作技術 (ゴム通し口) ③理論 (立体構成と平面構成) の3点を特に習得し、製作3に繋げる。確実に合格するために一着製作後、もう一着同じものを時間を計り製作 (裁断～完成4時間) ・アウターパンツの製作 (実寸) ①布の選び方 ②技術検定3級実技試験内容
	8	2	平面構成 (1/2縮尺) 効率的な作業手順	
	9	8	* 中間テスト (作品提出)	
	10	8	製作3 (アウターパンツ) 実寸での製作	
三学期	11	8	* 期末テスト (技術検定3級相当・筆記試験)	地場産業について 繊維の性質について理解
	12	4	着 装	
	1	4	衣生活まとめ (プリント教材)	
		テ1	* 学年末テスト (筆記試験)	

(3) 評価の観点

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知識・理解
観 点 の 趣 旨	モノづくりを通して人々の生活を豊かにしていることを認識し、ファッション造形について進んで学び、新たなモノづくりを行う態度を養う	着心地よく、美しいファッション製品製作のために、デザイン・被服材料・被服構成や裁縫に関する課題を発見する	被服製作に関するより高度な技術を活用し、計画に従って能率的に製作する。	デザインや着用目的に応じたより高度なファッション造形について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 (布、道具準備状況) (作品の進捗状況)	行動の観察 (作業効率を考えた行動) (デザインの創意工夫)	作品の評価は 家庭科技術検定被服製作4級または3級評価基準を準拠	記述の確認 小テスト 定期テスト

(4) 評価項目・評価点など

評価項目・学習にあたって・評価点	
定期テスト 実技テスト	筆記テストは、基本的には学年末テスト1回です。 ただし、家庭科技術検定3級・4級レベルの技術力を作品より評価します
学習プリント	学習プリントは、製作手順を示すものなどです。丁寧な字で記入します。
課題提出	製作物は丁寧に取り組み、提出日を守って提出しましょう <u>*作品が提出されないと評価できません。確実に提出して下さい。</u>
授業参加状態	私語を慎み、作業台の整理整頓を怠らず実習の環境を整えましょう。 作業中は、次の仕事を理解し、出来るだけ早く丁寧に終了するための改善策を考え作業に取り組みましょう。